

分野名	精神	科目名	精神看護学概論	
単位数	1	授業時間数	15	
開講年次	1	開講期間	通年	
担当教員	専任講師			
担当教員名				
目的	精神看護学を理解するために必要な基礎的知識を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 精神看護の目的と対象を述べる。 2. こころの健康の機序と理論を述べる。 3. 精神保健の変遷や法律との施策について述べる。 4. 精神保健医療福祉の変遷と法律や施策について述べる。 5. 災害時の精神看護の特徴と方法を述べる。 			
成績評価の方法と基準	※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す 単位修得試験(80%)、小テスト、課題(20%)			
使用テキスト・教材	メディカ出版 精神看護学①情緒の発達と精神看護の基本 第5版 精神看護学②精神障害と看護の実践 第5版 教材：講師作成の資料・小テスト			
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料は「精神看護学概論」とだめいを付けファイリングする(実習で使用) ・予習・復習を行う。 ・指示の授業のテキストページは必ず読んで、不明な言葉・用語は調べて書き留める ・授業には指示されたテキストページ、付箋、マーカーを持ってくる ・課題は提出前に書き漏らさないか点検し、締め切りを厳守する ・主体的に能動的に学習する ・質問歓迎 直接、または学内Gmail またはリアクションペーパーで質問する 			
No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	精神看護学について：精神看護学の概要・定義。精神看護で何を学ぶか、精神の健康の定義、精神障害の捉え方	講義	専任講師	
2.	こころの健康と機序	講義	専任講師	
3.	こころの発達理論	講義 小テスト	専任講師	
4.	精神医療の看護の変遷、欧米・日本の精神医療の歴史、法制度の変遷	講義	専任講師	
5.	日本の精神医療の現状、精神地域包括支援システム	講義	専任講師	
6.	精神保健福祉法、他の法律	講義	専任講師	
7.	災害時の精神看護①こころのケアの基本②精神疾患患者への対応	講義、課題	専任講師	
8.	単位修得試験		専任講師	
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				

分野名	精神	科目名	精神看護学方法論 I	
単位数	1	授業時間数	30	
開講年次	2	開講期間	通年	
担当教員	専任講師、兼任講師			
担当教員名				
目的	精神の保持・増進に必要な看護を実践するために必要な基礎的知識・技術・態度を身につける。			
目標	1.危機とストレスについて説明する。 2.精神の健康とマネジメントについて説明する。 3.現代社会と生活の場の心について説明する。 4.生きる力と強さに着目した援助について説明する。			
成績評価の方法と基準	※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す 単位修得試験(80%)、小テスト(10%)、課題:演習・レポート(10%)			
使用テキスト・教材	・基本テキスト ナーシンググラフィカ精神看護学①情緒の発達と精神看護の基本 メディカ出版第5版 ナーシンググラフィカ精神看護学②精神障害と看護の実践 メディカ出版第5版			
履修にあたっての留意点	・配布授業資料は、「精神看護学方法論 I」と題名をつけファイリングしてください。臨地実習、国試対策で使用します。 ・予習、復習を必ず行ってください。小テスト(非通知あり)実施します。 ・授業のテキストページは必ず読んで、解らない語彙は調べて語彙表に記入してください。語彙表は両面1枚を記入し終えたら提出してください。 ・課題レポートにおいて参考・引用文献(Web)がある場合は出典を明記してください。 ・スクリーンが見難い、声が聞き取り難い場合は速やかに教員に伝えてください。 ・授業回の順番、学習方法の演習が変更になる場合があります。			
No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	第112回国試と精神看護学の概説 国試関連概論復習	講義 演習	専任講師	
2.	精神医学関連形態機能学復習 ストレスと人間の反応Ⅰ/ストレス理論	講義	専任講師	
3.	ストレスと人間の反応Ⅱ/ラザルス理論	講義 演習	専任講師	
4.	ストレスと人間の反応Ⅲ/ ストレスの生理学機序	講義	専任講師	
5.	ストレスと人間の反応Ⅳ/ラザルス理論/コーピング	講義 演習	専任講師	
6.	危機理論と精神看護	講義 演習	専任講師	
7.	リエゾン精神看護	講義	兼任講師	
8.	精神の健康とマネジメント	講義	専任講師	
9.	メンタルヘルス/家庭、家族システム理論 メンタルヘルス/自殺、PTSD、アディクション	講義 演習	専任講師	
10.	メンタルヘルス/学校・職場	講義	専任講師	
11.	メンタルヘルス/地域社会	講義	専任講師	
12.	生きる力に着目した援助Ⅰ	講義 演習	専任講師	
13.	生きる力に着目した援助Ⅱ	講義 演習	専任講師	
14.	生きる力に着目した援助Ⅲ	講義 演習	専任講師	
15.	単位修得試験		専任講師	
16.				

分野名	精神	科目名	精神看護学方法論Ⅱ	
単位数	1	授業時間数	15	
開講年次	2	開講期間	通年	
担当教員	兼任講師			
担当教員名				
目的	精神障害の主な症状や疾患を理解し、看護に必要な基礎的知識・態度を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 主な精神症状や状態を理解する。 2. 主な精神疾患を説明する。 3. 精神科領域の検査とその必要性を説明する。 4. 精神医療における治療を説明する。 5. 精神科治療に関わる療法と各障害への適応を説明する。 6. 精神に障害を持つ患者と家族に尊重した態度を表現する。 			
成績評価の方法と基準	※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す 単位修得試験100%			
使用テキスト・教材	情緒発達と精神看護の基本 メディカ出版 精神障害と看護の実践 メディカ出版 教材：講師作成の資料			
履修にあたっての留意点	講義の最後に小テスト 設問5 5問一択あり。スライドで提示 回答用紙なし			
No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	精神医学総論①：知覚の障害・思考の障害・感情の障害・意欲の障害・自我意識の障害・意識の障害	講義	兼任講師	
2.	精神医学総論②：薬物療法・精神療法・法規など	講義	兼任講師	
3.	気分障害（うつ病、双極性障害など）	講義	兼任講師	
4.	統合失調症	講義	兼任講師	
5.	不安障害・ストレス関連障害	講義	兼任講師	
6.	老年精神医学・認知症を中心に	講義	兼任講師	
7.	児童・思春期の精神医学 バイオサイコソーシャルモデルによる疾患解釈 子供の発達と精神/発達障害児の成長と発達	講義	兼任講師	
8.	単位修得試験			
9.				
10.				
11.				
12.				
13.				
14.				
15.				
16.				

分野名	精神	科目名	精神看護学方法論Ⅲ	
単位数	1	授業時間数	30	
開講年次	2	開講期間	通年	
担当教員	専任講師			
担当教員名				
目的	精神に健康問題のある患者と精神に障害のある対象への実践的な看護をするための基礎的知識・技術・態度を身につける。			
目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 看護するための人間関係を説明できる。 2. 援助的コミュニケーションについて説明できる。 3. 精神に障害のある対象を理解する方法を説明する。 4. 精神障害の主な疾患・症状の看護について説明する。 5. 精神に障害をもつ患者の治療的環境について説明する。 6. 看護する上での倫理と人権擁護について述べる。 7. 地域精神保健活動における社会資源の活用法を説明する。 			
成績評価の方法と基準	<p>※成績評価については、各方法が評価全体に占める割合(%)を示す</p> <p>単位修得試験 / 課題・演習のワーク・レポート、小テスト / 演習時の身だしなみ 単位修得試験80%、その他合計20% (演習時の身だしなみ不十分の場合は減点)</p>			
使用テキスト・教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト：メディカ出版 ナーシンググラフィカ 「精神看護学②精神障害と看護の実践」「精神看護学①情緒の発達と精神看護の基本」第5版 ・テキスト：医歯薬出版株式会社 田中美恵子編著 「精神看護学第2版 学生-患者のストーリーで綴る実習展開」 			
履修にあたっての留意点	<ul style="list-style-type: none"> ・配布資料は「精神看護学方法論Ⅲ」と題名を付け、ファイリングし、授業に持ってくる ・授業には、上記授業資料のファイルの他、指示されたテキスト、付箋、マーカーを持ってくる ・予習・復習を行う 指示のテキストページ及び授業資料は必ず読んで、不明な言葉・用語は調べて語彙用語表に書く ・課題は提出前に書き洩らしがないか点検し、締切を厳守する ・実習室演習の身だしなみは実習室入室前に整えておく ・質問歓迎 直接または学内Gmail、リアクションペーパーで質問する 			
No	学習内容	学習方法	担当教員	担当教員名
1.	精神看護と倫理・人権擁護 看護における相互作用	講義 課題	専任講師	
2.	プロセスレコード(自己理解、他者理解)	講義 演習	専任講師	
3.	看護理論の枠組みと比較 オレムアンダーウッドのセルフケア理論①	講義	専任講師	
4.	オレムアンダーウッドのセルフケア理論②	講義	専任講師	
5.	精神看護における看護過程の展開①	講義 演習	専任講師	
6.	精神看護における看護過程の展開②	講義 演習	専任講師	
7.	精神看護における看護過程の展開③	講義 演習	専任講師	
8.	精神看護における看護過程の展開④	講義 演習	専任講師	
9.	退院支援・外来における精神看護 地域で暮らす精神障害のある対象への援助	講義	専任講師	
10.	主な精神科治療の看護	講義 課題	専任講師	
11.	援助的コミュニケーション(技術チェック) 精神看護における看護過程の展開⑤(看護計画)	講義 演習	専任講師	
12.	主な精神つ疾患・症状の看護実践 (看護計画の実際)①	講義 演習	専任講師	
13.	主な精神つ疾患・症状の看護実践 (看護計画の実際)②	講義 演習	専任講師	
14.	主な精神つ疾患・症状の看護実践 (看護計画の実際)③	講義 課題	専任講師	
15.	単位修得試験		専任講師	
16.				